

平成 27 年 9 月吉日

## 第 26 回関東女子ラグビーフットボール大会 開催要項（一般の部）

関東ラグビーフットボール協会女子委員会  
大会実行委員長 並木 富士子  
大会実行副委員長 安達 三枝

### 1. 目的

- (1)関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15人制ラグビーのレベルアップを図る。
- (2)第2回全国女子ラグビーフットボール選手権大会の出場チーム及び順位を決定する。

2. 主催 : 関東ラグビーフットボール協会

3. 主管 : 関東ラグビーフットボール協会女子委員会

4. 協力 : 埼玉県ラグビーフットボール協会

5. 商品協賛 : アサヒ飲料(株) カルピス営業本部 味の素(株) スポーツニュートリション部

### 6. 日程および会場

- (1)10月11日(日) 熊谷ラグビー場 Bグラウンド
- (2)10月25日(日) 熊谷ラグビー場 Bグラウンド
- (3)11月 1日(日) 熊谷ラグビー場 Bグラウンド

### 7. 参加資格

(1)参加チーム : 関東ラグビーフットボール協会に加盟しているチームであること。

(2)参加選手 : 各参加チームの全選手、全スタッフは、各協会に登録していること。

#### ①18歳以上の女子選手

(高校生も可とする。但し、選手の安全性を第一とし、一般の試合に出場できるフィジカルとスキルを兼ね備えていること、保護者の承諾を得ていることを条件とする。

人数合わせのために高校生を参加させないこととする。一般の試合と高校生の試合と両方に出場することは出来ないこととする。参加する場合には、大会規定の「**承諾書**」を提出すること)

#### ②その他

(a)スポーツ安全保険に加入していること。

(b)既往歴(内科的疾患も含む)のある選手は、予め大会本部に連絡し、医師診断書を持参すること

(c)未登録の選手および保険に加入していない選手は参加できない。

(d)本大会の選手登録用紙提出期限までに手続きを済ませること。(大会中の追加登録を可とする)

(e)マウスガード着用を義務とする。

(d)ヘッドキャップ着用は自己責任とするが、着用することが望ましい。

### 8. 選手登録

選手登録用紙にもれなく記入し、9月30日(水)までにメールにて提出すること。

提出先：E-mail natsuko.seki@rugby.or.jp 関 奈津子宛

- ・合同チームは、合同チームでまとめて申込みをすること。
- ・未眼申し込みの際に、合同チームは、チーム名を決めて申し込みをすること。

## 9. 参加費

選手1人 1,000円

- ・主な内訳：グラウンド使用料、ドクター謝礼、スタッフ交通費、用具・備品代などが含まれる。

## 10. 競技規則

- (1) 2015年度版 World Rugby 競技規則にて実施する。
- (2) World Rugby 世界的試験実施ルールを実施する。
- (3) 試合時間は、40分ハーフとし、ハーフタイムは10分以内とする。  
尚、原則としてロスタイムはとらない。
- (4) 試合当日の選手の登録は、23名以内とする。
  - (a) フロントローについては3名まで、その他の選手は5名まで入れ替える事ができる。
  - (b) フロントローリザーブが1～2名までしかいないチームは、23名まで登録することはできるが、入れ替える事のできるその他のプレーヤーは、5名までである。
- (5) 各チームは、試合前にレフリーにフロントロープレーヤーとその交替要員を知らせなければいけない。フロントローの各プレーヤーおよび交替の可能性のある要員は、適切に訓練され、かつ、経験のあるプレーヤーでなければならない。
- (6) 選手の入替及び交代は、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入しAR3（コントローラ）または、担当競技役員へ提出し、その指示に従って行うものとする。
- (7) 外国籍選手の出場  
アジア枠選手1名を除く外国籍選手は、試合へのエントリー人数は制限をしないが同時出場は2名までとする。アジア・ラグビーフットボール協会加盟国協会の国籍を有する者は、外国籍選手登録と同時に「アジア枠」して登録することができる。  
選手としてアジア枠でフィールドオブプレーに入ることができる選手は、1名を限度とする。
- (8) キックオフまでに15人揃わなかった場合、リザーブも含め、他のチームからの貸し借りは無しとする。1チームにつき15名より少ないプレーヤーによる試合を許可する。  
この場合、スクラムにおいて常に1チームにつき少なくとも5名のプレーヤーが参加しなければならないとする以外は、本競技規則がすべて適用されることとする。

### 11. 競技方法

- (1) リーグ戦方式にて行い、勝点の多いチームから順に順位を決定する。
- (2) 順位の決定  
試合終了毎に、勝点（勝ち：4点、引き分け：2点、負け：0点）を与え、全試合終了時の勝点総計に基づいて順位を決定する。勝点が高数の場合は、次の順序で順位を決定する
  - ① 試合終了時に勝点が高数の場合は、得失点差の多いチームから上位とする。
  - ② 得失点差が高数の場合は、トライ数の多いチームから上位とする。
  - ③ トライ数が高数場合には、コンバージョン数の多いチームを上位とする。
  - ④ 上記全てが高数場合には、抽選で順位を決めることとする。

(a)不戦勝チームは勝ち点「4」、不戦敗チームは「0」とする。

(b)ボーナス点として以下の勝ち点を与える。

・負けても7点差以内ならば、勝ち点「1」を追加。

・勝敗に関係なく、4トライ以上獲得したチームに、勝ち点「1」を追加。

### (3)ノーコンテストスクラム

①退場あるいは負傷が理由で、適切に訓練されているフロントロープレーヤーがいなくなった場合、試合はノーコンテストスクラムにより続行される。

②レフリーは、試合中に、チームに、競技規則に則った適切に訓練され、かつ、経験のあるフロントロープレーヤーがいない、または、安全上の理由で、ノーコンテストスクラムを命じたら、その旨を試合主催者に報告する。

③レフリーによりノーコンテストスクラムが命じられた場合でも、競技規則に基づいて続行される。

④その原因を作った側のチームの得点も記録され、勝敗および勝ち点に影響はないものとする。

⑤適切に訓練された前列がいる以上は、試合開始前から戦術的にノーコンテストスクラムを選択する事はできない。

## 1 2. 安全面について

①ユニフォーム（上下）は、使用ジャージを統一すること。

②マウスガード着用を義務とする。

③各自、保険証を持参すること。

④各チームの代表者は、選手の緊急連絡先を把握していること。

⑤各チームで応急用品（メディカルバック）、アイシング用の氷を必ず用意しておくこと。

⑥試合時には、各チーム一人ずつメディカル担当者を出しチーム所属選手の対応をすること。

⑦スタッフ、選手、一人一人が安全を第一に考えて、行動をすること。

⑧傷害が発生した場合は、チームから県協会に報告をすること。（関東ラグビー協会年鑑参照）

## 1 3. 代表者会議について

(1)実施する時刻は、大会マニュアルに記す。

(2)参加者は、大会実行委員長、記録責任者、チーム代表者、レフリーとする。

(3)試合メンバーの最終確認、ブリーフィング、ドレスチェック、コイントス時間及び場所、その他留意事項を確認する。

## 1 4. 試合前の練習について

試合開始10分前のみグラウンド（インゴールを含め）を使用可能とするが、それ以外は、アップ場を使用すること。グラウンド内でのタックル、コンタクトプレーはできない。

## 1 5. 参加クラブおよびチーム編

・Aチーム：世田谷レディース、ARUKAS QUEEN KUMAGAYA W7RFC

・Bチーム：TKM（戸塚共立メディカルRC）、東京 PHOENIX RC、湘南ベルマーレスC、Rugirl-7

・Cチーム：RKU ラグビー龍ヶ崎 GRACE

・Dチーム：日本体育大学ラグビー部女子

## 1 6. 試合内容

- ・第1日目 10月11日(日) ①A 対 B ②高校生 ③C 対 D (調整中)
- ・第2日目 10月25日(日) ①B 対 C ②高校生 ③A 対 D
- ・第3日目 11月 1日(日) ①A 対 C ②中学生 ③D 対 B

※高校生、中学生の試合数と時間帯は、9月下旬から10月上旬に決定する予定です。  
タイムスケジュールと合わせて、大会マニュアルに記載する。

以上